

やまびこ

発行日：平成 25 年 4 月 発行：高山赤十字病院 高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 発行責任者：地域連携課

第2回 地域連携講演会 & 意見交換会の開催



岐阜大学医学部附属病院
副院長 吉田和弘先生

平成25年2月16日（土）午後4時より高山グリーンホテルにて、地域医療機関・施設・行政等の方をお招きして、第2回 地域連携講演会と意見交換会を開催いたしました。高山市医師会斎藤会長をはじめ開業医の先生方等66名、当院の医師・看護師等44名、総勢110名の参加がありました。

開会の挨拶では棚橋病院長より当院の地域連携の現状を紹介し、引き続き、岐阜大学医学部附属病院 副院長 吉田和弘先生による「我が国のがん医療のめざすもの—チーム医療の推進と地域連携—」についてご講演があり、出席された先生方はとても興味深く聞き入っていました。

また、意見交換会では飛騨市医師会長の乾杯の音頭で始まり、各テーブルでの会食・歓談、テーブルを離れて新たな談笑の輪もでき、予定の時間が経過して無事閉会となりました。

意見 交換会



開会挨拶
院長 棚橋 忍



来賓挨拶
飛騨市市長 井上 久則様



来賓挨拶
高山市医師会長 斎藤 草先生



乾杯挨拶
飛騨市医師会長 大高 征先生



閉会挨拶
高山市歯科医師会長 鶯塚 英雄先生

目次

- 第2回 地域連携講演会&意見交換会の開催 … 1
- 第3回 糖尿病地域連携講演会 報告 …… 2.3
- 第13回 地域連携症例検討会 報告 …… 4
- 研修・講演・勉強会のご案内 …… 4
- MRI装置が更新されました！ …… 5
- 新任医師の紹介 …… 6.7
- 新任研修医の紹介 …… 8
- 退任医師 …… 8
- 平成24年度 第4回地域医療連携検討委員会の報告 … 8
- 編集後記 …… 8

第3回 糖尿病地域連携講演会 報告

(飛騨保健所生活習慣病医療連携推進事業)

平成 25 年 3 月 24 日 (日)



「当院での糖尿病 病診連携の取り組み」

木沢記念病院 糖尿病センター
センター長 高見 和久 先生

当院での糖尿病病診連携の取り組みはまだ約5年を経過したところであり、本格的にパスシステムとして軌道に乗ったのはせいぜい2年程です。まだまだひよこです。当初、院内の勉強会としてスタートした組織がところある人たちの参加、協力を得て徐々に大きくなり、そして現在のセンター化に繋がりました。そしてその組織が母体となり、院外にその活動を広げ、近隣の開業医の先生方との顔のみえる間柄をめざし、医院訪問、研修会開催、学会報告などを重ね、やっと現在軌道に乗ってきたところです。

小さな集まりやネットワークから徐々に周りの人や組織を巻き込み、より大きなネットワークになってきたことは感慨深いものがあります。とりわけこの2年程前からは県糖尿病対策推進協議会などの強い指導のもと、保健所、市役所などの行政も積極的に糖負荷試験などを勧め、市民講座や健康相談なども多くなりました。さらに本年度からは本格的に地域の歯科医師会との提携も始まりました。

当院周囲の環境が私どもの活動により好意的、協力的なものへと変化してきました。小さな積み重ねで時間がかかり、派手さはありませんが、より堅固なものが出来つつあるように思います。“雨垂れ石をも穿つ”の思いで今後もこの連携に取り組んで行く所存です。

そしてこれから少しずつでもネットワークのすべての人たちや何より患者さんたちとその連携による成果を享受できればと考えています。



第3回 糖尿病地域連携講演会 報告

(飛騨保健所生活習慣病医療連携推進事業)

平成 25 年 3 月 24 日 (日)

「服薬指導における薬剤師のジレンマ」

わに薬局 薬局長

和仁 寿彦 先生

昨年同様 開局の薬剤師にアンケートを行い、その結果から連携に対する意識や、糖尿病治療に対する知識等を調査してみたが、その結果はとても残念な感じであった。

まずは、回答率が 70%から 46%にまで落ちてしまったこと。設問の内容を前回より少し普通の患者さんとのやり取りに踏み込んだものにしてみたが、その結果回答を迷ってしまったのではないかとと思われる。日頃から患者さんとの服薬指導に時間が割かれていないのではと懸念される。

内容は、一言での回答がほとんどであった。毎日忙しい中でこのようなアンケートに回答する時間が少ないと思うが、もっと薬剤師が糖尿病治療に参画するという意識があって欲しいと願う。年々、糖尿病の患者さんは増加し、また患者さんのアドヒアランスの向上が必要な糖尿病治療において、もっと薬剤師が患者さんに関わっていくことが重要であると思われるが、憂うべき現状である。

今年度も薬剤師会では、薬剤師の意識向上を目的として、毎月の情報交換会を行うようにしたが、日赤、久美愛厚生両病院の薬剤師が出席頂いたにもかかわらず、参加者はいつも 20 名程度であった。今後は、もっと内容を充実して参加者が増えることを期待する。

また、講演会のように大きなミーティングではなく、小規模の、薬剤師が発言しやすい勉強会を行うことで、個人のスキルアップを図りたい。

この地域で医薬分業が進み始めて 15 年余り、これまでの消極的な連携への参加から積極的な参加への意識改革を行っていきたいと思う。

「糖尿病と歯周病との関連」

わに歯科医院 院長

高山歯科医師会理事 和仁 俊廣 先生

3 月 24 日に第 3 回糖尿病地域連携講演会に参加させていただきました。本年度は岐阜県下各圏域においても歯周病と糖尿病の関連について、医療連携体制の構築を目的として会議が各保健所で行われています。

歯周病は初期には気が付かないまま進行し、歯の動揺等自覚症状に気付いた時には手遅れで抜歯の転帰に至ることも少なくありません。歯周病によって糖尿病が重症化しやすいことが解っています。歯周病菌が原因となる炎症によって産生される炎症性サイトカイン (TNF- α) が作用→インスリンの抵抗性 (インスリンの効果が発現し難い状態) が上昇→膵臓が疲弊しインスリン分泌障害、血糖値の上昇が起こる→糖尿病が悪化する。以上が一連の経路となっています。

歯周病は歯牙の動揺、喪失を招き、結果として咀嚼能力が低下してしまいます。軟性食の嗜好、飲み込む摂食形態は食後の高血糖を招きます。歯周病は歯が存在する限り治療することのない疾患です。長い生涯を通じての適度な運動、規則正しい食生活それに加え健全な口腔内環境を維持する事によって、糖尿病と歯周病の発症予防に努めましょう。

糖尿病と歯周病



第13回 地域連携症例検討会 報告

平成25年2月13日(水)

「最近2年間に当科で入院加療を行った マイコプラズマ肺炎63例に関する検討

～使用抗菌薬の動向を中心に～



小児科 臼井 新治

以前はオリンピック開催の年に流行するとされていましたが、2011年の大流行から感染が拡大していると言われていました。その背景にはマクロライド耐性菌の増加が関与するとされます。

今回の検討会では、最近当科で治療に難渋した症例を紹介し、入院症例の患者背景・重症度の推移、抗菌薬使用の変化、診断方法の内訳、早期ステロイド療法の適応などについて呈示させて頂きました。当科での診療実績からも、全国的な傾向と類似し、症例数の増加・難治化の傾向が示唆されました。

今後も当科では、最近保険収載となったLAMP法を用いた診断方法やマクロライド耐性菌を考慮した治療選択等につき検討を重ねていきたいと思っております。開業医の先生方で、外来治療に難渋し重症化する症例等がございましたら遠慮無く当科へご紹介を頂ければ幸いです。

「当院における運動器外傷の治療

～現状と治療成績について～



整形外科 喜久生 健太

運動器外傷とは、頭部顔面以外の骨・関節・骨格筋(腱・靭帯)・脊髄・末梢神経の骨折、脱臼、腱・靭帯損傷、血管・神経(脊髄)損傷を指します。

運動器外傷は、当院の救急外来受診患者のうち約17%を占め、外科系の約35%を占めます。昨年の運動器外傷の総数(患者数ではありません)は、電子カルテベースで疑い病名も含めて3000弱で、その大まかな内訳は骨折2500、脱臼150、腱断裂70程度でした。

昨年、当科で行われた整形外科手術のうち約70%が外傷関連の手術でした。そのうち骨折が75%を占めていました。骨折では、大腿骨転子部骨折に対する治療が26%と最多数を占めていました。

大腿骨転子部骨折に対しては、ガンマネイルという器械を使用し、およそ30分間程度で、手術が終了します。153例の検討では、治癒成功率98.7%と良好でしたが、術前の歩行能力を落とさないようにすることが、今後の課題であると考えられました。

研修・講演・勉強会のご案内

- ・平成25年度 がん診療に携わる医療従事者のためのがん化学療法に関する研修会

平成25年6月28日(金)19:30より 高山赤十字病院 本館 3階 講堂

MRI 装置が更新されました！

平成 25 年 3 月

放射線科 畑中 信吾

この度、当院のMRI装置が、1T (テスラ) から1.5Tの機器へと更新され、3月末から稼働を始めました。今回導入された新機種は、SIEMENS社製 MAGNETOM Avanto 1.5Tです。



特 徴

・検査環境の改善

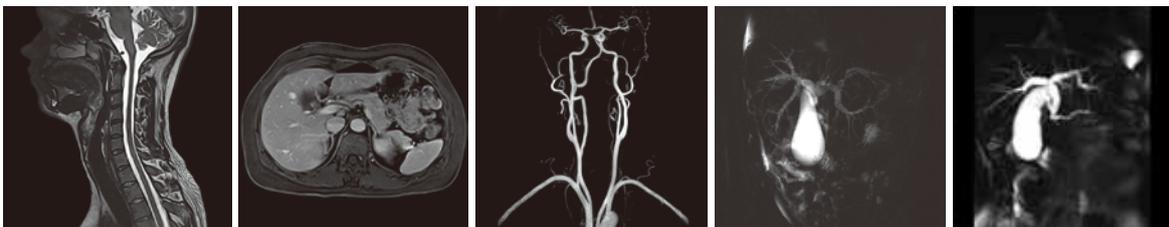
従来の装置は壁の中の狭いスペースに入っていく閉塞感がありましたが、Avantoはガントリー(筒状部分)が奥行き160cmと短く、内部も明るくなり開放感があります。また、騒音も軽減し、患者様には以前と比べ、快適に検査を受けていただけるようになりました。

・撮像技術の向上

MRI検査は動き(呼吸、体動など)により、画質に大きく影響が出ますが、撮像技術の進歩によりAvantoでは、多少の動きがあっても、動きを補正して、鮮明な画像を撮像することが出来ます。

・画質の向上

磁場強度が1.5倍高くなり、コイルと呼ばれる受信部の性能も飛躍的に向上した為、従来よりもスライス厚を薄く、高空間分解能で撮像が可能となり、微細な病変の診断にも有効です。



これからも、医療機器共同利用のさらなるご利用をお願いします。

新任医師 の 紹介

- ① 診療科・職名
- ② 氏名
- ③ 専門分野
- ④ 専門医・認定医
- ⑤ 診療に対するモットー
& 自己紹介 など



2月に1名、4月に12名の医師が赴任しましたので、ご紹介致します。



- ① 産婦人科 副部長
- ② **小倉 寛則** (おぐら ともりの)
- ④ 産婦人科学会専門医・婦人科腫瘍専門医・母体保護法指示医
- ⑤ 2月から高山赤十字病院産婦人科に赴任しました小倉 寛則 (おぐら ともりの) と申します。常勤の麻酔科の先生がいない病院は初めてで、不安なところもありますが、今までの経験とともに頑張ります。よろしくお願いいたします。



- ① 内科 医師
- ② **加藤 潤一** (かとう じゅんいち)
- ③ 消化器内科
- ⑤ この度内科職に赴任致しました加藤潤一と申します。平成21年に岐阜大学医学部を卒業、同附属病院にて研修後、岐阜県総合医療センター・岐阜市民病院の消化器内科で勤務し、現在に至ります。至らぬ点もあると思っておりますが宜しくお願い申し上げます。



- ① 内科 医師
- ② **野々村 健太** (ののむら けんた)
- ③ 内分泌・代謝
- ⑤ 3月まで岐阜大学医学部附属病院にて勤務していました。飛騨地域の医療に貢献できるようにがんばりますので、よろしくお願いいたします。



- ① 循環器内科 医師
- ② **今井 一** (いまい はじめ)
- ③ 循環器内科
- ④ 日本内科学会認定内科医
- ⑤ 平成25年4月より勤務しています。平成19年富山大学卒で岐阜大学医学部附属病院で6年間勤務しての赴任です。高度救命治療センターでの勤務経験もあります。地域に根ざした医療を心掛けていきますので宜しくお願いします。



- ① 整形外科 医師
- ② **佐竹 崇志** (さたけ たかし)
- ③ 整形外科
- ⑤ 微力ではありますが、飛騨地域の医療に少しでも貢献できるよう精一杯診療にあたりたいと思います。よろしくお願いいたします。



- ① 外科 医師
- ② **沖 一匡** (おき かずただ)
- ③ 一般外科
- ④ 日本外科学会専門医・J A T E Cインストラクター・T N T研修会受講終了・緩和ケア研修会終了
- ⑤ 医師7年目となりました。外科医としてはまだまだで学ぶべきことが多いことを日々痛感しております。ご迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願いいたします。



- ①外科 医師
- ②**徳丸 剛久** (とくまる よしひさ)
- ③外科
- ⑤岐阜県総合医療センターからきました徳丸剛久と申します。
学生時代にラグビーで鍛えた体力をもとにエネルギーに働きつつ、患者さん一人一人に対しては丁寧な診察を心がけていきたいと思ひます。



- ①脳神経外科 医師
- ②**植松 幸大** (うえまつ こうだい)
- ③脳神経外科
- ⑤10年振りの地元復帰となりました。地域の方々のお役に立てるよう頑張りたひと思ひます。



- ①脳神経外科 医師
- ②**村井 博文** (むらい ひろふみ)
- ③脳神経外科
- ⑤平成22年卒で脳神経外科医の村井博文と申します。まだまだ新人で分からないこともたくさんありますが、一つ一つの症例を全力でやっていきたいと思ひています。頼りがいのある医師になるべく日々努力していきまひすので、よろしくお願ひいたします。



- ①泌尿器科 医師
- ②**前川 由佳** (まえかわ ゆか)
- ③泌尿器科
- ⑤4月から高山赤十字病院泌尿器科で勤務することになりました、前川由佳と申します。まだまだ不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けすることも多いかと思ひますが、患者さんの立場に立った医療を心掛け、精一杯頑張りたひと思ひます。よろしくお願ひ致します。



- ①産婦人科 医師
- ②**村瀬 紗姫** (むらせ さき)
- ③産婦人科
- ⑤愛知県出身、岐阜大学卒業し、昨年度までは岐阜大学医学部附属病院に所属しておりました。
飛騨地域の医療に貢献できるよう頑張りまひす。よろしくお願ひ致します。



- ①耳鼻咽喉科 医師
- ②**高島 隆** (たかばたけ りゅう)
- ③耳鼻咽喉科
- ⑤モットーは特にありませんががんばりまひす。



- ①眼科 医師
- ②**高井 祐輔** (たかい ゆうすけ)
- ③眼科 (白内障・硝子体)
- ④眼科手術学会認定医・日本眼科医会認定医・日本眼科学会認定医
- ⑤患者さんに対して、誠心誠意を尽くし、患者さんが気軽に来られる外来・楽しい外来を心がけておひます。病気で苦しんでいる時こそ、笑顔から生まれる“力”は何よりも変えられない治療法の1つです。見た目は悪い僕ですが、どうぞ宜しくお願ひ致します。

新任研修医の紹介

4月に7名の研修医が赴任しましたので、ご紹介致します。
どうぞ宜しくお願いします。

ばんの しんや
坂野 慎哉
よざわ いん
世沢 さ胤

なかしま だい き
中島 大樹
かわうら りよう
川浦 僚

くろかわ だいすけ
黒川 大祐
よこやま きみ か
横山 公香

いまいずみ としのり
今泉 俊則

退任医師

産婦人科医師	岩砂 智丈	1月31日付	内科医師	松本 拓郎	3月31日付
研修医	小島 昭司	1月31日付	産婦人科医師	森 崇宏	3月31日付
輸血部部長 (脳神経外科医師)	林 克彦	3月31日付	脳神経外科医師	山田 哲也	3月31日付
整形外科副部長	銅島 大興	3月31日付	外科医師	田中 秀治	3月31日付
眼科医師	小原 賢一	3月31日付	循環器内科医師	矢ヶ崎裕人	3月31日付
整形外科医師	吉岡 大輝	3月31日付	研修医	只左 一也	3月31日付
泌尿器科医師	高木 公暁	3月31日付	研修医	星 みゆき	3月31日付
耳鼻咽喉科医師	加藤 史門	3月31日付	研修医	小牧 久晃	3月31日付

お疲れさまでした

平成24年度 第4回地域医療連携検討委員会の報告

標記委員会を2月16日(土)に開催いたしました。

地域医療連携検討委員会は、地域医療機関等からの要請に対応し必要な支援を行えるよう審議し定期的に開催される委員会です。

委員会では紹介率・逆紹介率、地域連携の現状などの業務実績やMRI・ライナックの更新について報告をいたしました。

意見交換では介護連携、服薬指導、在宅福祉に関する事など委員の方から多くのご意見を頂きました。

編集後記

この号が出る頃には、春の気配が整っているでしょうか。春といえば、出会いと別れの季節です。親しい方々と別れを告げて、新しい環境で頑張っている方も大勢いらっしゃる事でしょう。満開の桜の下でお花見をして、気持ちを開放! ストレス発散! そして、親睦を深める事ができるといいですね。

地域の皆さまとより良い連携を図れるように、春の日差しの様な笑顔を忘れずにいたいです。今後ともよろしくお願い致します。

退院調整課 善名里江



日本赤十字社

高山赤十字病院
地域連携課

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地
TEL: 0577-35-1880 FAX: 0577-32-1165
メールアドレス byoshin@takayama.jrc.or.jp
ホームページ <http://www.takayama.jrc.or.jp/>